

介護付き旅行で安心して、ハワイでのショーを楽しんでいるモニターツアー参加の方々

今年行われたハワイモニターツアーでの記念撮影



「旅のコンセプトも『自分仕様のゆとり旅』とした。あくまでも自分のペースで独自の旅をしてもらいたい。旅は心を元気にし、体のリズムを変え、生命の根源に力を与える最もすばらしい手段である」と考える。同社が企画する旅行は、国内は日帰りから1泊2日の温泉地、2泊3日の北海道などのコースを用意。海外は東南アジア、ハワイ、カナダ、イギリス、フランスなどのコースがある。また、お客様に合わせたオーダーメイド旅行の手配等も可能。費用は行き先、日数、同行ケアスタッフの有無、介護内容などにより異なるので、それぞれの希望に添って見積りを提出してくれる。

今年6月14日、19日に行われた「ハワイでコムスン」というハワイ6日間のモニターツアーでは、次のような方々が参加し、全行程ヘルパー1名、添乗員1名が同行して、9万3000円だった。(お一人様/2名1室利用・オプション(別料金)で介護・介助サービスが付く)

(例)

- 78歳男性・在宅酸素(肺気腫)、身障者1級、喘息発作
- 71歳女性・変形性ひざ関節症、杖歩行
- 67歳女性・股関節変形両下肢機能障害
- 72歳女性・狭心症、高血圧、乳がん

コムスン・トラベルの旅で何より安心なのは、出発から帰宅まで、必要に応じてケアスタッフが同行してくれるということ。同社では、旅行サービスができるケアスタッフとして



株式会社コムスン・トラベル 西谷 典子さん

私はトラベルヘルパーとして、Y様ご夫婦の箱根2泊3日のご旅行に同行いたしました。ご主人が脳出血で倒れてからは初めての旅行です。東京から箱根の移動手段として、車椅子のまま乗降可能なリフト付きジャンボタクシーの手配をし、入院先の病院ロビーで待ち合わせ、いざ出発です。宿泊先は、障害を持った方やその家族のための施設ということもあり、車椅子でも困難なく過ごせるような工夫がされていました。楽しみにしておられた温泉、家族風呂にリフトが付いており、通常では歩けないご主人も奥様と私とで介助し、安心してゆったりと温泉を楽しまれました。3日間の温泉旅行を無事終了し、「次は車椅子で電車に乗ってみたい。電動車椅子が欲しい」と前向きな気持ちをお話して下さるご主人に深い感銘を覚えました。

トラベルヘルパーさんに聞きました

「旅行など自分には無理」とあきらめている方もいらっしゃると思います。不安も多いことと思いますが、『日常生活の延長』として、旅も生活の一部と考えて参加してください。そのお手伝いをできることが私たちトラベルヘルパーの喜びでもあります。

取材協力/株式会社コムスン・トラベル
東京都港区六本木4-8-6 パシフィックキャピタルプラザ5F
●運輸大臣登録旅行業第1557号 社団法人日本旅行業協会正会員
お問い合わせは
TEL: 03-5772-1900 (代表) FAX: 03-5772-1890
E-MAIL: webmaster@aiclub.net
HP: http://www.aiclub.com/

APAMAN OWNERS 2000年10月30日

For old & handicapped

高齢者・障害者向けの介護・医療サービス付き旅行

高齢で体が不自由になり一人で移動するのは困難、また病気で食事制限があるなどの理由で好きな旅行をあきらめている人はいませんか？ そのような様々な理由で旅を断念せざるをえない人々を、楽しい旅行へと案内してくれる旅行会社があります。一人ひとりの身体条件にそって、自分らしい旅が続けられる介護・医療サービス付き旅行を紹介します。



株式会社コムスン・トラベル 代表取締役社長 篠塚 恭一氏

しのづか きょういち 1961年生まれ。大手旅行会社ツアーコンダクターを経て、日本航空系人材派遣会社勤務。91年、株式会社エス・ピー・アイ設立。99年、介護サービス大手のコムスンと資本提携。2000年3月、コムスン・トラベルに商号変更。若手起業家の世界組織YEO日本地区理事。

高齢化社会のために生まれた新しい旅

体にハンディを抱えた人の中にも旅好きの人は多い。最近では高齢者や障害者向けの旅行サービスも増えており、旅行会社が企画するツアーや宿泊施設、交通機関のバリアフリー化も進み始めている。しかし、体にハンディがある人達が自由に旅をすることは容易ではない。「車いすで行くツアー」などがあっても、介護者を必要とするような障害を持っていく人の場合は、参加を断られる場合もあるという。そんな人々にも旅の楽しさを味わってもらいたいと、高齢者や障害者向けの旅行サービスを行っているのが、コムスン・トラベルだ。

服選びから荷造りまでをサポート。要介護者の場合、ケアスタッフがベッドまで出迎え、全行程を付き添う。旅行中も個別の事情に応じてケアサービスや医療サービスを手配する。宿泊施設も車いすで利用できる広めの客室、ベッドで泊まれる温泉旅館やいろいろいな食事アレンジに対応できる宿など、設備が整っているとこを厳選している。

「旅はリハビリ」
根本は介護サービス

コムスン・トラベル社長の篠塚恭一氏は、1991年に株式会社エス・ピー・アイを設立。もともと添乗員などの旅行関係の人材派遣業が事業の中心だったが、96年ごろから大手旅行会社が消極的だった高齢者や障害者向けに旅行サービスを行ってきた。いわば、「高齢者・障害者向けツアー」の先駆者である。

今年の2月、在宅介護のリーディングカンパニー、株式会社コムスンと資本提携し、コムスンの高齢者介護サービスのノウハウを融合。より充実した旅行商品が提供できる要介護者向けバリアフリー旅行の専門会社、コムスン・トラベルとして新たなスタートを切った。

「旅行というより介護サービスの提供という考えが根本にある。介護サービスを提供するなかで『移動する』ということ、それが旅行という位置づけだ。これを通じて社会に出るといふ動機づけをしてもらえれば

て福祉旅行人材(トラベルマスター、トラベルヘルパー)の養成にも力を入れていく。介護や介助が行え、そのうえ旅行知識を持った専門のスタッフが旅を案内してくれる。

また、高齢者や障害者の情報拠点として「あ・える倶楽部」というサロンを開設している。年齢、障害を超えて、その人らしさを活かすための情報交換を行ったり、仲間作りなどができる倶楽部だ。現在会員になっている人は、高齢者や障害者の介護される側の人だけでなく、ボランティア活動をしたいという20代の若者やまだまだ介護をする側という60、70代の人、また、介護をしている人を支援する人など様々。「豊かな人生の生きがいづくりの機会の提供」として文化活動にも力を入れている。